

# 調査相談(レファレンス)事例紹介 17



## Question

菊池寛の小説『入れ札』は国定忠治が題材となっていますが、菊池寛がこの『入れ札』を書いた背景・きっかけが知りたいです。



## Answer

菊池寛（1888-1948）は香川県出身の小説家・劇作家で、『忠直卿行状記』や『真珠婦人』、『父帰る』等数々の著名な作品を残しています。また、雑誌「文藝春秋」を刊行し文藝春秋社を創業する等、実業家としての一面も持ち、芥川賞や直木賞等の創設にも携わりました。

寛が『入れ札』を発表したのは1921（大正10）年で、雑誌「中央公論」に掲載されました。同年には戯曲も発表され、1926（大正15）年に初演されています。

寛が『入れ札』のテーマを得たきっかけは『現代小説選集』編纂作業中の出来事でした。この選集は田山花袋・徳田秋聲の功績を記念して刊行することになったもので、当時を代表する小説家30名程を選ぶことになりました。島崎藤村や谷崎潤一郎、芥川龍之介ら20名程は異論なく決定したものの、残り的人選に難航。特に長田幹彦を選定するかどうかで揉めたそうで、最終的には無記名による投票によって決着するというなんとも後味の悪いものでした。文壇関係者が占める編集委員の中には長田幹彦本人や流行の盛りを過ぎたとみられる作家も混じっており、自分たちで“当時を代表する”作家を選ぶのは酷なことだったでしょう。無記名投票を提案したのは寛だったようですが、寛は異論なく決定した20名に入っていました。決着後、寛はその場に居合わせた久米正雄に「…あれで一つの主題を得たよ。いづれ書く。」と宣言し、完成した作品が『入れ札』でした。

この一件に関しては、寛はもちろん、後に久米正雄や長田幹彦も自著の中で語っていますが、状況には多少食い違いがあるようです。



## 参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① 菊池寛の仕事	井上 ひさし／編・著 こまつ座／編・著	ネスコ	1991	07357056
② 菊池寛全集 第22巻	菊池 寛／著	高松市菊池寛記念館	1995	05467972
③ 菊池寛のうしろ影	片山 宏行／著	未知谷	2000	08696064
④ 菊池寛を読む	日高 昭二／著	岩波書店	2003	09854472
⑤ 菊池寛	小林 和子／著	勉誠出版	2007	12838876
⑥ 微笑随筆	久米 正雄／著	文芸春秋新社	1953	02411650

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008